

令和元年（2019年）8月19日開会

令和元年（2019年）第11回

茨木市教育委員会定例会

会 議 録



茨木市教育委員会

◆ 令和元年8月19日（月）第11回教育委員会定例会を南館6階会議室で開催した。

◆ 出席委員

教 育 長	岡 田 祐 一
教育長職務代理者	武 内 由 紀 子
委 員	片 山 正 敏
委 員	篠 永 安 秀
委 員	堀 村 佳 奈 子

◆ 本委員会に出席した者

教 育 総 務 部 長	乾 克 文
教 育 政 策 課 長	玉 谷 圭 太
学 務 課 長	堤 義 孝
施 設 課 長	中 井 教 純
社会教育振興課長	松 本 栄 子
歴史文化財課長	木 下 典 子
中央図書館長	吉 田 典 子
学校教育部長	加 藤 拓
学校教育推進課長	谷 周 平
教 職 員 課 長	岩 城 大 将
教育センター所長	足 立 英 幸
こども育成部長	岡 和 人
保育幼稚園総務課長	山 寄 剛 一
保育幼稚園事業課長	村 上 友 章

◆ 署名委員

委 員	片 山 正 敏
-----	---------

(令和元年 8 月 1 9 日 (月) 、午後 2 時 0 0 分)

議事日程 (令和元年第 1 1 回茨木市教育委員会定例会)

(於 : 市役所南館 6 階会議室)

日程	議案番号	件名	摘要
1		会議時間の決定について	
2		会議録署名委員指名について	
3		会議録の承認について	
4		諸般の報告について	
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			

(1 4 時 0 0 分 開 会)

岡田教育長

それでは、ただいまから令和元年第 1 1 回茨木市教育委員会定例会を開会いたします。
本日は委員会を傍聴したいとの申し出がありますので、ここで入室していただきます。
それでは、傍聴者を入室させてください。

(傍聴者入室)

岡田教育長

本日の出席者は 5 名でありまして、会議は成立いたしております。
なお、本委員会には部長以下、説明員の出席を求めています。
これより本日の会議を開きます。
日程第 1 「会議時間の決定について」を議題といたします。
お諮りいたします。
本日の会議時間は午後 4 時までといたしたいと思いますが、異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めまして、本委員会の会議時間は午後 4 時までと決定いたします。
日程第 2 「会議録署名委員指名について」。
本件は、茨木市教育委員会会議規則第 1 7 条の規定により、片山委員をご指名申し上げますので、よろしく申し上げます。
日程第 3 「会議録の承認について」を議題といたします。
「令和元年第 9 回茨木市教育委員会定例会会議録（案）」について、お諮りいたします。
異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認め、「令和元年第9回茨木市教育委員会定例会会議録（案）」については承認することといたします。

日程第4「諸般の報告」を行います。

乾教育総務部長が報告

岡田教育長

以上の報告について、何かご質問はございませんか。

武内委員

7月7日から7月13日に、「夏休み親子チャレンジ！読書感想文の書き方講座」というのを開催されたようなんですけれども、この読書感想文の書き方というのは、一般的な書き方のお話だったのか、それとも、子どもたちが1冊ずつ本を持ってきて、自分がそれをやってみたいと、書き方を教えてもらいながら実践的にやっていくような講座だったのか、そのあたり、どういうふうな形で行われたんでしょうか。

吉田中央図書館長

こちらのほうは、参加型の講座になります。ただ、それぞれの子どもたちが本を1冊ずつ持ってくるというのではなくて、先生が話や文を用意されまして、それを前のほうで読みまして、どういうふう感じたかを書いてくださいとか、レジュメを先に渡しまして、自分で考えてそこに書き込んでいくという形で、お母さんとかに手伝ってもらいながら考えていくという形の講座になっています。

武内委員

ありがとうございます。で、これ、割と低学年から中学年ぐらいの子どもたちが参加したのかなと思うんですけれども、どんな感じだったんでしょうか。

吉田中央図書館長

一番多かったのは、どこの館もそうなんですけども、小学校2年生が一番多かったです。ただ、6年生の方も参加はありました。

武内委員

学校の授業で学ぶというふうなこともあると思うんですけども、こうやってね、ちょっと場所を変えてとか、違った方に指導してもらおうというのは、とても有意義なことかなと思いますので、ぜひ広めていただいて、盛り上げてもらって、たくさん子どもたちが参加できたらいいなというふうに思いましたので、よろしくお願いします。

岡田教育長

ほかに何かありませんか。

片山委員

今の、読書感想文の書き方講座ですか、これは、夏休みということで、保護者の方も一緒にね、参加されていますが、今、お聞きしておりますと、保護者の方に手伝ってもらって書くということなんですか。一緒に参加される意味合いですね、どういう役割を親に求めたのか、少し教えていただけたらと思います。

吉田中央図書館長

手伝ってもらおうという言い方をしたんですけども、親子別々に、1人ずつレジュメを配る形で、後で話しあうという形を取りました。といいますのは、この講座は、去年から始めたんですけども、去年は保護者の方、遠くから見守っていただくという形を取っていたんですけども、小学校1年生の参加の子どもと、小学校6年生の参加のお子さんと一緒にいったので、差があり過ぎたということがありました。ですので、低学年のお子さんなんか、どうしようみたいなことになるので、去年のアンケートで、口出しはしないけれども、そばで座れたらいいなみたいな意見もありましたので、そういう形態を取りました。

片山委員

子どもさんの感想文と保護者の方の感想文、内容は、受けとめ方が相当違うと思いま

すけれど、お互いを理解する上でもね、非常にいい取り組みだというふうに思います。日ごろ、子どもたちがどう考えているのか、また子どもから見て、保護者の方はどういふような感想を持つのかなとかいう、そういう相互理解には非常に役立ったかなというふうに思いますね、いい取り組みだと思います。

で、同じように、7月28日の子どもと保護者の科学教室、これも保護者の方が入っておられますけど、これも、保護者が一緒に体験されるというのは、何か、どういう意味合いでされたんでしょうか。

足立教育センター所長

この「子どもと保護者の科学教室」において、においをつくってみようというところでは、においをいろいろ調合する際に、一緒に保護者の方と調合作業をやり、においの確認等も一緒にやっていただきました。その中で、親子の会話を通じながら、いろんなにおいがまざっていくことによって、においが変わっていくんですが、それを体験していただくというようなことをいたしました。

岡田教育長

ほか、どうでしょうか。

武内委員

質問です。最後の8月6日から8月9日の、このホップステップキャンプというのが、前にもお聞きしたのかどうか、ちょっと定かではないんですけども、どんな感じのことをされたんでしょうか。

松本社会教育振興課長

ホップステップキャンプにつきましては、市内在住の小学校6年生と中学校1年生を対象にしたキャンプで、さまざまな体験活動を通じて、3泊4日、キャンプの魅力に触れながら、いろんなことを体験してもらうというようなキャンプになります。1日目は、グループで野外炊飯等をした後、2日目に、小豆島町の子どもたちとの交流キャンプを企画しておりまして、そこでキャンプファイヤーとかを一緒に取り組むことによって、茨木市のほうからも小学校6年生がオリーブキャンプで小豆島町に行っ

いますので、そういったところの再会もかねて、プログラムを組ませていただいています。3日目は、また茨木の子どもたちだけでドラム缶風呂であったり、秘密基地なんかを探したり、そういった野外活動をするというような形のプログラムで、4日目には、それぞれの、また木工工作とかで記念品をつくって、退所式を迎えるというような形でのキャンプを実施しました。

武内委員

参加者が73人ということなんですけれども、今、言っていただいた参加者の内訳みたいなのは、どんな感じなんですか。

松本社会教育振興課長

小学6年生が61人と、中学生が12人という参加になっています。

武内委員

そしたら、その小学生、小学生は6年生ですよね、その61人の中に、その小豆島の子どもたちも含まれているんですね、何人ぐらい来ているんですか。

松本社会教育振興課長

この61人は、茨木市の小学生になります。小豆島の子どもたちはフレンドリーキャンプということで、8月6日から8月8日、小豆島町から茨木市のほうに来られてまして、当日、小豆島町の小学校6年生は、77人の子どもたちが交流キャンプに参加していただいています。

武内委員

この小豆島から来ている子どもたちの人数というのは、何か以前よりだいぶ増えているように思うんですけれども、どうなんでしょうか。

松本社会教育振興課長

小豆島町から来てもらう小学6年生は、小豆島町にあります4つの小学校全ての児童が対象で来ていただいていますので、やっぱり子どもの人数が減ってきているので、

来てくれる子どもたちは年々、微減ですけど減少傾向にはあります。

岡田教育長

はい、ほかにどうでしょうか。

片山委員

8月1日に子どもセミナー（子ども将棋教室）というのをされております。最近、将棋について、子どもたちの関心も高まっているとは思いますが、こういった子どもたちが来られて、どのレベルの教室を開催されたのか、どういう状況だったのでしょうか。

松本社会教育振興課長

この将棋教室につきましては、大学のサークルで将棋をやっている大学生のほうから、子どもたちにも教えたいという要望等もありまして、実施をしているものです。今年度につきましても、今回で、2回目の実施になっています。内容といたしましては、駒の動かし方から始める初心者コースと、ある程度、対局ができるというような対局経験者コースに分かれて、大学生に指導を行ってもらっています。

当日は、午前中と午後、2回に分かれて、それぞれ初心者コースと対局経験コースを実施しました。当日の様子なんですけれども、当初、大学生が、5人ぐらい来ていただくということになっていたんですけど、ちょっと諸事情で、指導に当たっていただく大学生が少なかったということもありまして、最初に、2コース同時に駒の動かし方の確認をしたり、将棋パズルとか詰め将棋を紹介した後に、対局できる子どもたちは自分たちで対局をして、初級コースの子どもたちに対しては大学生がそれぞれ将棋の駒の動かし方等を教えたというような状況です。で、参加した子どもたちからは、大学生に教えてもらえてすごく楽しかったというような意見もいただいています。

片山委員

はい、ありがとうございます。

岡田教育長

ほか、よろしいでしょうか。

篠永委員

私のほうから、相馬先生の第2土曜科学教室ですかね、1年度の間に相馬先生が直接来ていただく機会というのは1回か2回か、大体何回ぐらいあるんでしょうか。1回はあると思うんですけど。

足立教育センター所長

この第2土曜科学教室につきましては、相馬先生のほうにもお願いしまして、年1回程度来ていただけないかということで依頼をしまして、来ていただいております。

篠永委員

有名な相馬先生ですので、夏休みのね、自由研究を見据えてというのは、非常に時期的によかったんじゃないかなと思います。においの科学のときの日の参加者数と比べると、若干少ないのは、やはり曜日の関係でしょうか。こっちが土曜日で、においのほうが日曜日なので。できるだけ、相馬先生のご都合も、事務局のほうもご都合もあるんだとは思いますが、せっかくの相馬先生の授業ですので、できるだけ子どもたちに聞かせてあげたいというのが、私たちの願いかなと思いますので、ちょっと開催の曜日、タイミングはこの時期でいいと思うんですが、また、ご配慮いただけたらと思います。

岡田教育長

ほかは、よろしいですか。

堀村委員

8月5日の子どもセミナーのモザイクアートというのは、どのような企画だったんでしょうか。

松本社会教育振興課長

モザイクアートにつきましては、子どもたちに、フォトスタンドとドアプレートをつ

くってもらおうというような内容になっております。長方形の板に粘土を張りつけていて土台をつくります。で、板の片面全体に張りつける場合はドアプレートになって、端の4辺を囲むように張りつけた場合はフォトスタンドというような形をイメージして、作品を仕上げてもらいました。張りつける紙粘土は、裏に木工用のボンドをつけて固定をして、その上に、子どもたち、ビーチグラスとか、いろいろ飾りつける装飾品を持ってきてもらっているのです、そこにまた粘土で埋め込んでいくことによってカラフルなそれぞれの作品をつくり上げたというような内容になっています。

岡田教育長

はい、よろしいですか。この7月13日のあじさいキャンドルづくり、これはどんなものなんですか。僕、ちょっと興味があつて。

松本社会教育振興課長

あじさいキャンドルづくりにつきましては、これも、セミナーのほうで、キャンドルづくりというのは定期的に、それぞれテーマを変えてやっているんですけど、春の動物であったり、クリスマスのキャンドルであったり。今回は、その7月13日ということで、あじさいをテーマとしてで実施をいたしました。

こちらのほうも、作業自体は低学年でも取り組めるような形で、講師が作成されたキャンドルを基礎に、その上に花型のろうをつけていくという形の繰り返しで完成できるような作業となっていて、配置とか装飾によって、それぞれ子どもたちの個性が出るような形で、さまざまなキャンドルが完成していました。参加した子どもたちは、リピーターの方々も多くて、人気の高さが見受けられました。

岡田教育長

ほか、何かご質問ございませんか。

それでは、以上をもちまして、諸般の報告を終わります。

以上をもちまして、本日の会議日程は全部終了いたしました。

令和元年第11回茨木市教育委員会定例会を閉会いたします。どうもご苦労さまでした。

(1 4 時 2 6 分 閉会)

以上会議の顛末を記載し、茨木市教育委員会会議規則第17条によりここに署名する。

令和元年8月19日

茨 木 市 教 育 委 員 会

教 育 長 _____

署 名 委 員 _____

令和元年第11回茨木市教育委員会定例会事務報告

令和元年7月13日～令和元年8月9日

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者	担 当 課
7月13日 (土)	子どもセミナー (あじさいキャンドルづくり) (参加者: 63人)	上中条青少年センター	関係職員	社会教育振興課
7月7日 (日) ～ 7月13日 (土)	夏休み親子チャレンジ! 読書感想文の書き方講座 (参加者: 204人)	中条図書館ほか	関係職員	中央図書館
7月13日 (土)	第2土曜科学教室 自由研究の進め方 台所の科学「水と油のふしぎ」 (参加者: 28人)	教育センター	関係職員	教育センター
7月24日 (水)	令和元年度茨木市人権教育夏季研究集会 (参加者: 924人)	立命館いばらき フューチャープラザ	教育長 関係職員	学校教育推進課
7月25日 (木)	子どもセミナー (しかけ絵本を作ろう) (参加者: 36人)	上中条青少年センター	関係職員	社会教育振興課
7月26日 (金)	令和元年度茨木市立幼・小・中学校校園長一日研修会 (参加者: 86人)	市民総合センター	教育長 武内教育長職務代理者 関係職員	学校教育推進課
7月20日 (土) ～ 7月27日 (土)	映画会 (開催回数: 2回 参加者: 延べ122人)	中央図書館	関係職員	中央図書館
7月26日 (金) ～ 7月28日 (日)	しょうどしまオリーブキャンプ (参加者: 40人)	香川県小豆島町	関係職員	社会教育振興課
7月26日 (金) ～ 7月28日 (日)	高校生ボランティアキャンプ (参加者: 16人)	青少年野外活動センター	関係職員	社会教育振興課
7月23日 (火) ～ 7月28日 (日)	「みてさわって たのしもう! てづくりの本」 絵本展&ワークショップ (参加者: 255人)	中央図書館	関係職員	中央図書館
7月28日 (日)	子どもと保護者の科学教室 にのいの科学 ～匂いをつくってみよう～ (参加者: 68人)	教育センター	関係職員	教育センター

令和元年第11回茨木市教育委員会定例会事務報告

令和元年7月13日～令和元年8月9日

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者	担 当 課
7月29日 (月)	令和元年度茨木市立小・中学校教頭一日研修会 (参加者：89人)	市民総合センター	教育長 武内教育長職 務代理者 片山委員 関係職員	学校教育 推進課
8月1日 (木)	子どもセミナー (子ども将棋教室) (参加者：57人)	上中条青少年セン ター	関係職員	社会教育 振興課
7月20日 (土) ～ 8月1日 (木)	子ども向け工作等行事 (開催回数：4回 参加者：延べ380人)	中央図書館ほか	関係職員	中央図書 館
8月5日 (月)	子どもセミナー (モザイクアート) (参加者：59人)	上中条青少年セン ター	関係職員	社会教育 振興課
8月2日 (金) ～ 8月5日 (月)	ジュニアリーダー研修会Aコース (参加者：60人)	青少年野外活動セン ター	関係職員	社会教育 振興課
8月6日 (火) ～ 8月8日 (木)	いばらきフレンドリーキャンプ (参加者：95人)	青少年野外活動セン ター	関係職員	社会教育 振興課
7月13日 (土) ～ 8月8日 (木)	おはなし会 (開催回数：28回 参加者：延べ618人)	中央図書館ほか	関係職員	中央図書 館
8月6日 (火) ～ 8月9日 (金)	ホップステップキャンプ (参加者：73人)	青少年野外活動セン ター	関係職員	社会教育 振興課